

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	世界大会を契機としたスポーツ振興事業			事業番号	12-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	吉川 武士	スポーツ課	杉山 秀久	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	12	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	
予算事業名	スポーツ・レクリエーション活動推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	～		終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム		計画期間	平成28年度～令和2年度	
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	スポーツを取り巻く環境は、ICT(情報通信技術)の発達や少子高齢社会の進展により、市民の生活様式や価値観、余暇時間の使い方も変化し、スポーツに求められる役割も年代に応じ多様化しています。また、スポーツのビッグイベントであるラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も間近に控え、今後のスポーツへの期待や関心も日増しに高まっております。				
目的 (何をどうしたいのか)	世界大会の開催を契機に、市民誰もがスポーツに親しむ環境づくりとして、市民やスポーツ関係団体との協働により、関係種目の教室・講習会等を開催し、スポーツ振興の推進を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	・多くの市民が参加できるスポーツプログラムとして、神奈川県や大学等と連携を図り、タグラグビーやオリンピック・パラリンピックの競技種目(以下、オリパラ種目)であるボッチャ等の教室や講習会等の検討を図り、開催します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	タグラグビー教室・講習会	検討・実施	検討・実施	継続実施	
	オリパラ種目(ボッチャ等)教室・講習会	検討・実施	検討・実施	継続実施	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	教室・講習会等の開催数	—	4回	6回	6回



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	市民誰もがスポーツに親しむ環境づくりとして、親子ラグビー教室やボッチャ体験会の継続開催し、世界大会開催を契機に運動・スポーツの機運醸成を図ってまいります。			
実施方法 〔選択・記入〕	● すべて直接実施 ○ 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	ラグビー教室・講習会	検討・実施	継続実施	
	オリパラ種目(ボッチャ等)教室・講習会	検討・実施	継続実施	
実施した取組の内容	パラリンピック公式種目であるボッチャの体験教室は、横浜ボッチャ協会の協力のもと、5月・10月・11月の3回実施しました。また、ボディコンタクトが無くラグビーに親しんでもらえるラグビー教室は、専修大学ラグビー部の協力のもと、2月8日の午前午後に分けて2回実施。また、ラグビー観戦ツアーを11月に実施しました。			
目標の達成状況	【指標名】	年度		
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	教室・講習会等の開催数	—	4回	6回

コスト	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		419	千円	441	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	内訳	国県支出金 ①	206	千円	220	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	213	千円	221	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	国県支出金の内容		神奈川県市町村スポーツ施策推進補助金 補助率:1/2											
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有 ● 無		前回の改定時期									
		その他												
	人件費	正規職員	0.1	人	851	千円	0.11	人	957	千円	0	人	0	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.1	人	851	千円	0.11	人	957	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)				1,270	千円			1,398	千円			0	千円
	単位当たりコスト	対象数	定義		教室等の開催数	単位	定義		教室等の開催数	単位	定義		単位	
		対象数			4	回			6	回			単位	
総事業費 / 対象数				317,500	円			233,000	円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	指標目標である教室・講習会等の開催を6回開催し、計画を達成いたしました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴う機運醸成を目的とした事業は、他市でも実施していますが、事業内容がそれぞれ異なるため、一律での比較は困難です。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機としたボッチャ体験教室やタグラグビー教室は、運動・スポーツの楽しさを親しんでもらうとともにパラスポーツの普及もでき、良い機会となりました。また、ラグビーワールドカップ終了後のラグビー観戦ツアーは、更なるラグビーへの理解や関心を深めるきっかけとなりました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市内にある専修大学や横浜ボッチャ協会、市スポーツ推進委員と連携・協力し、教室や観戦ツアーが効率的に進められ、スポーツの面白さや楽しさに親しむとともに、パラスポーツ及びラグビーの理解や関心を深めるきっかけとなりました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市民誰もがスポーツに親しむ環境づくりとして行っている本事業ですが、幅広い年齢層並びに障がいを持った市民も気軽に参加できる工夫が必要と考えます。
令和2年度の取組方針		市内の大学やスポーツ関係団体と連携し、ボッチャ体験教室やタグラグビー教室等を継続開催するとともに、世界大会の開催の機運醸成と市民誰もが運動・スポーツに親しむ環境づくりを図ります。		
所管部長による総評		ラグビーワールドカップが成功裏に終了した中、次の東京オリンピック・パラリンピックへの期待と関心が高まりスポーツに親しむ環境づくりが重要と考えます。県や大学、関係団体と連携しながら、タグラグビー教室やボッチャ体験会などを開催することにより、関連競技の市民周知を図るとともに、こうした機会を捉え、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの振興を図っていくことが大切です。		